

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
余暇生活論 Study on Leisure Life		全学科	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	渡邊 哲郎	
概要				
余暇生活という窓口から人間と社会のあり方を見つめ、学習者一人ひとりが、これからの豊かなライフスタイルを創造していくことをねらいとして、余暇生活の概要、デザインを解説する。				
到達目標				
(1) 余暇生活、余暇活動についての基本を説明することができる。 (2) 各自が余暇生活を振り返り、自らの余暇生活を他者に説明できる。 (3) 余暇生活に関わる身近な問題について、自分の考えや意見を述べることができる。				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 授業ガイダンス 自己の生活を振り返る 2 余暇とは何か 3 生活行動と余暇 4 現代社会と余暇（高齢化社会・情報化社会） 5 余暇生活とレジャー・レクリエーション 6 余暇生活を診断する（1） 7 余暇生活を診断する（2） 8 余暇生活を診断する（3） 9 中間レポートの報告会 10 余暇生活を開発する（個人・グループ作業①テーマを決める） 11 余暇生活を開発する（個人・グループ作業②テーマに合わせた情報収集） 12 余暇生活を振り返る（個人・グループ作業③情報収集のまとめ） 13 余暇生活を振り返る（全体発表） 14 余暇生活能力の向上に必要なこと 15 今後の創造的な余暇生活をめざして 				
テキストおよび 参考文献	配布資料			
メッセージ な ど	豊かな余暇生活（学生生活）を送りたいと考えている学生の受講を希望する。 共に学ぶという基本姿勢のもと、充実した人生の指針を探ることを希望する。			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 余暇生活、余暇活動についての基本を説明することができる。	ほぼ完璧に説明できている。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが最低限の基本を説明できている。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	60%
(2) 各自が余暇生活を振り返り、自らの余暇生活を他者に説明できる。	ほぼ完璧に説明できている。	大きな間違いがなく、説明できている。	間違いはいくつかあるが最低限の説明ができている。	説明できていない。	課題レポート (関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	20%
(3) 余暇生活に関わる身近な問題について、自分の考えや意見を述べている。	ほぼ完璧に自分の考えや意見を述べている。	大きな間違いがなく、自分の考えを述べている。	間違いはいくつかあるが最低限の自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。		20%